

● Photo sketch ●



6/24 歴史観光・PRロゴ発表

令和2年1月から、明智光秀を主人公にしたNHK大河ドラマ「麒麟がくる」が放送されます。この放送を機に、光秀ゆかりの地である土岐市の歴史観光を促進しようと、市観光協会がロゴマークを作成し、この日、土本大観光協会会長から発表されました。ロゴマークは、桃紫の桔梗の中に「土岐明智氏ゆかりの地 土岐市」と説明され、今後のPR活動などで使用されます。



7/2 笑顔いっぱいのあいさつを

土岐市あいさつデーが実施され、市内各所で青少年育成会、PTAなどの各団体関係者や地元の住民が通学路などに立ち、登校する児童・生徒らとあいさつを交わしました。子どもたちの中には、大きな声で「おはようございます。」と笑顔いっぱいであいさつできる子、少し恥ずかしそうにあいさつをする子、さまざま反応でしたが、この運動をとおして、これからもあいさつの輪を広げ、子どもたちの安全・安心につなげたいものです。



7/2 絆をつなぐプロジェクト

市内の美濃焼関連企業に勤める女性を中心に活動する「美濃焼おかみ塾」のメンバーが市役所を訪問し、「美濃焼がつなぐ絆プロジェクト」の概要を市長に説明しました。このプロジェクトでは、東日本大震災の際、土岐市が支援を行った多賀城市にある「ギャラリー・シン」が西日本豪雨災害が発災した際に募金を呼び掛け、集まった募金で、美濃焼おかみ塾のメンバーの窯元が、子供用食器を製作し、被災した真備町の子供たちに、美濃焼を届けるとともに、現地で陶育活動も行います。



7/9 犯罪や非行のない明るい社会へ

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」と「社会を明るくする運動」に合わせ、犯罪や非行の防止、更生しようとする人を支援しようと、市内6校の中学校の生徒12人が一日保護司として駅前で啓発活動を行いました。生徒らは犯罪や非行がない社会になってほしいと意気込み、地域住民や通勤通学で行き交う人々に「青少年の健全育成にご協力をお願いします」「社会を明るくする運動をお願いします」と熱心に声を掛けていました。

6/15 ホタルの夕べ
アンデス&ラテン音楽につつまれて

鶴里公民館を中心に、ホタルの夕べが開催され、多くの参加者でにぎわいました。ホタル観察会の前に、公民館ホールで、南米ペルー、クスコ出身の兄弟デュオTAKISUN（タキスン）による陽気なリズムのアンデス&ラテン音楽コンサートが行われ、子どもたちの演奏参加のサプライズもあり、満員のホールは、大いに盛り上がりました。コンサート終了後、参加者は妻木川沿いのホタルの小径で、ホタルの観察を行いました。また、当日の運営では、濃南中学校の生徒がボランティアとして活躍しました。



6/16 災害に備えて
安全・安心のための活動

日曜日の早朝から妻木川にかかる御幸橋（土岐津路町）で陸開の開閉訓練が実施されました。この陸開は、妻木川の水位が上昇し、水が橋を超えそうなときに住宅地への流入を防ぐ扉で、毎年この時期に、津路町と御幸町の町民が合同で訓練を行っています。この日は、北防災センターで泉町の災害図上訓練（DIG）も開催され、参加した町民は、防災担当職員の講義の後、自宅周辺の地図を広げ、風水害を想定して、自宅周辺の危険箇所や避難経路などを確認し、災害時の行動などについて学びました。



災害図上訓練



陸開訓練（津路町側）



陸開訓練（御幸町側）